

バックオフィスの業務効率化と 持分なし医療法人への移行を支援



認定支援機関の概要

白川 浩平

【機関種別】 税理士
【所在地】 高知県高知市堺町
2-26
【設立】 平成13年6月
【従業員数】 8名
【認定日】 平成27年5月26日



中小企業・小規模事業者の概要

医療法人翔和会岡岡歯科・矯正歯科クリニック

【業種区分】 医療、福祉
【所在地】 高知県高知市鴨部
1-10-33
【設立】 平成2年8月
【従業員数】 24名
【資本金】 ー



支援に至った経緯

セミナーで
経営理念に共感



経営状況の把握・課題設定

手作業中心の会計・
属人的な労務作業



解決策の提案・実施

バックオフィスDXと持分
なし医療法人への移行



今後の取組・フォローアップ

労働環境の改善、人材
マネジメントをサポート



支援者が開催する医業経営者向けセミナーを受講

1

当機関は「共に学び、共に挑戦し、共に栄える」をモットーとして、中小企業経営者向けのセミナーを定期的に開催している。一方、平成21年にクリニックの3代目理事長に就任した相談者は、一般企業とは性格が異なるため、経営全般について悩みや疑問点を相談する適切な相手がおらず困っていた。平成27年に地元で開催された医業経営者向けセミナーに参加した相談者が、当機関の経営理念に共感。同年より、当機関による継続的な伴走支援のもとで経営改善へ取り組むこととなった。



2

非効率なバックオフィス業務、懸案の「持分なし医療法人への移行」

支援開始当初、法人の業績自体は順調に推移していたものの、会計・人事労務事務は手作業が中心であり、非効率かつ属人的な作業になっていた。まず、将来に担当者が変更した場合にも対応できるよう、効率的な内部管理体制を構築する必要があるとの認識を同社と共有した。加えて同社は、現状の「持分あり医療法人」から、厚生労働省が推進する「持分なし医療法人」への移行を希望していたため、スムーズかつ効果的なタイミングで移行できるよう準備を進めることとした。



3

クラウド会計ソフトの導入による業務効率化、持分なし医療法人への移行提案

業務効率化に関しては、IT導入補助金を活用し、クラウド会計ソフトを導入。導入支援はもちろん、その後も定期的に訪問サポートを行っている。会計ソフトによる自動化が進んだ結果、バックオフィスの業務に割く時間が従来の4分の1程度まで短縮できた。また、持分なし医療法人への移行に関しては、現状の持分あり医療法人のままだと自由診療の範囲が制限されるなどさまざまな不利益が生じるため、早期の着手が必要となっていたが、財務状況を見据えつつ、ベストなタイミングを提案することで、大きな税務負担なく移行手を完了できた。



4

採用力アップと人材マネジメント力の向上に向けた伴走支援を実施

DXによる業務の効率化を図ることで、従来は業者に委託していたSNSによる情報発信等も従業員が行うようになり、従業員全体の時間をより有効に活用できるようになった。現在、市内には100を超える歯科があり、その中で患者や従業員に選ばれるようになるためには、採用力アップと人材マネジメントが不可欠となる。当機関としては、労働環境の改善や業務効率化をさらに推し進め、自然と人が集まる仕組づくりを継続的にサポートしていく。

支援を受けた
中小企業・
小規模事業者の声

DX化による今後の人手不足への不安解消、長年の懸案だった持分なし医療法人への移行など、将来に向けた法人経営を安心して進められるようになりました。ただこれらの具体的な事柄もさることながら、最もありがたかったのは、お互いに話し合い、成長しながら次のステージへ進む、よきパートナーに巡り会えたことです。